



資 料

- ・第五次生涯学習推進基本計画に関する諮問・答申
- ・計画策定の経過
- ・計画策定に携わった関係者名簿
- ・生涯学習に関する市民アンケート結果
- ・市民からの意見募集（パブリックコメント）結果

第五次生涯学習推進基本計画に関する諮問・答申

諮 問

平成29年3月28日

苫小牧市社会教育委員会
議長 山口 孝 昭 様

苫小牧市教育委員会
教育長 和野 幸夫

社会教育法第17条第1項第2号に基づき、下記のとおり諮問します。

記

諮問事項

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画策定について

諮問理由

苫小牧市は理想の都市像を「人間環境都市」とし、総合計画において6つのまちづくりの目標を掲げるとともに、市民憲章の具現化に向け、様々な施策に取り組んでいるところです。とりわけ生涯学習に関しては、「学ぶ喜びにあふれ文化の薫るまち」の実現をまちづくりの目標の1つに掲げ、生涯学習の推進に重点を置いているところです。

近年、少子・高齢化や高度情報化、地域社会の変容、経済のグローバル化による雇用環境の変化など、社会構造の急激な変化に伴い、市民の学習ニーズが多様化、高度化するとともに、地域課題も複雑さを増しています。また、生涯学習は個人の人生に潤いや豊かさを与えるとともに、その成果を地域づくりやまちづくりに活かすことにより、社会全体の発展を実現する基盤となるものと考えられています。

このようなことから、苫小牧市教育委員会では平成2年度の「第一次生涯学習推進基本計画」の策定から、現在の「第四次生涯学習基本計画」まで継続して計画を策定し、本市の生涯学習の推進に努めてまいりました。第四次計画が平成29年度末で終了するとともに、さらなる生涯学習の推進が求められる社会的背景から、平成30年度から5カ年を見込んだ「第五次生涯学習推進基本計画」を策定する予定であります。

つきましては、第五次計画を策定するにあたり、本市における生涯学習活動を円滑に推進し、より一層発展・充実させるためのご意見を取りまとめいただきたくここに諮問するものであります。

答 申

平成29年11月28日

苫小牧市教育委員会
教育長 和野 幸夫 様

苫小牧市社会教育委員会議
議長 山 口 孝 昭

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画策定について（答申）

苫小牧市社会教育委員会議は、平成29年3月28日をもって、苫小牧市教育委員会教育長からこのことについて諮問を受けました。

本諮問を受け、私たちは生涯学習推進に関する基本計画の見直しについて、精力的に議論を重ね、答申を作成いたしました。

答申にあたっては、現計画の課題の解決と諸情勢の変化、市民アンケートによる意見を反映した内容となるよう配慮いたしました。

教育委員会においては、今後、本答申を踏まえ、この第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画に基づき、生涯学習の施策を着実に推進していくことを期待します。

計画策定の経過

年 月 日	実 施 内 容 等	
平成 29 年 1 月	市民アンケートの実施	郵送調査及び施設調査の実施
平成 29 年 3 月 28 日	平成 28 年度第 3 回 社会教育委員会議	「第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画」策定の諮問、策定スケジュール、市民アンケート結果報告
平成 29 年 5 月 30 日	平成 29 年度第 1 回 社会教育委員会議	第四次計画の検証、市民アンケート年代別結果、他市の概要
平成 29 年 6 月 28 日	平成 29 年度第 2 回 社会教育委員会議	第四次計画の委員評価、市民アンケートから導き出される視点、国・道の考え方と第四次計画の比較、第五次計画の方向性(案)
平成 29 年 8 月 2 日	平成 29 年度第 3 回 社会教育委員会議	第五次計画の骨子(案)
平成 29 年 9 月 14 日	平成 29 年度第 4 回 社会教育委員会議	第五次計画(案)
平成 29 年 11 月 21 日	平成 29 年度第 5 回 社会教育委員会議	第五次計画(案)の修正、答申案
平成 29 年 11 月 28 日	教育長へ答申	
平成 29 年 11 月	答申を受け計画案作成	
平成 29 年 12 月 11 日～1 月 10 日	パブリックコメントの実施	市民参加条例に基づく実施
平成 30 年 1 月 26 日	教育委員会議	第五次計画の承認
平成 30 年 3 月	市議会文教経済常任委員会へ報告	第五次計画策定の報告
	平成 29 年度第 6 回 社会教育委員会議	第五次計画の最終状況報告
	計画書の公表・配布	

計画策定に携わった関係者名簿 (敬称略)

苫小牧市社会教育委員 (任期：平成 28 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日)

区分	氏名	職業・役職	備考
学校教育 関係者	中川 恵介	苫小牧市立青翔中学校校長 (苫小牧市中学校長会会計長)	
	奈良 秀夫	苫小牧市立拓進小学校校長 (苫小牧市小学校長会会長)	平成 29 年 5 月 26 日から
	山本 他喜男	苫小牧市立苫小牧東小学校校長 (苫小牧市小学校長会会長)	平成 29 年 5 月 25 日まで
社会教育 関係者	大澤 充矩	苫小牧市文化団体協議会監査	
	◎ 山口 孝昭	苫小牧地区保護司会保護司	
家庭教育 関係者	榎本 郁子	苫小牧市婦人団体連絡協議会理事	
	辻 直人	苫小牧市 P T A 連合会副会長 (丸彦渡辺建設(株)苫小牧支店工場長)	
学識 経験者	○ 小林 守	苫小牧駒澤大学 国際文化学部教授	
	松尾 優子	苫小牧工業高等専門学校 創造工学科准教授	平成 29 年 5 月 31 日まで
	渡辺 暁央	苫小牧工業高等専門学校 環境都市工学科准教授	平成 29 年 6 月 1 日から
一般公募	池永 良恵	元福岡市小学校教諭	
	藤島 豊久	藤栄通信工業(株)代表取締役 日本宇宙少年団北海道ブロック協議会会長	

◎会長 ○副会長

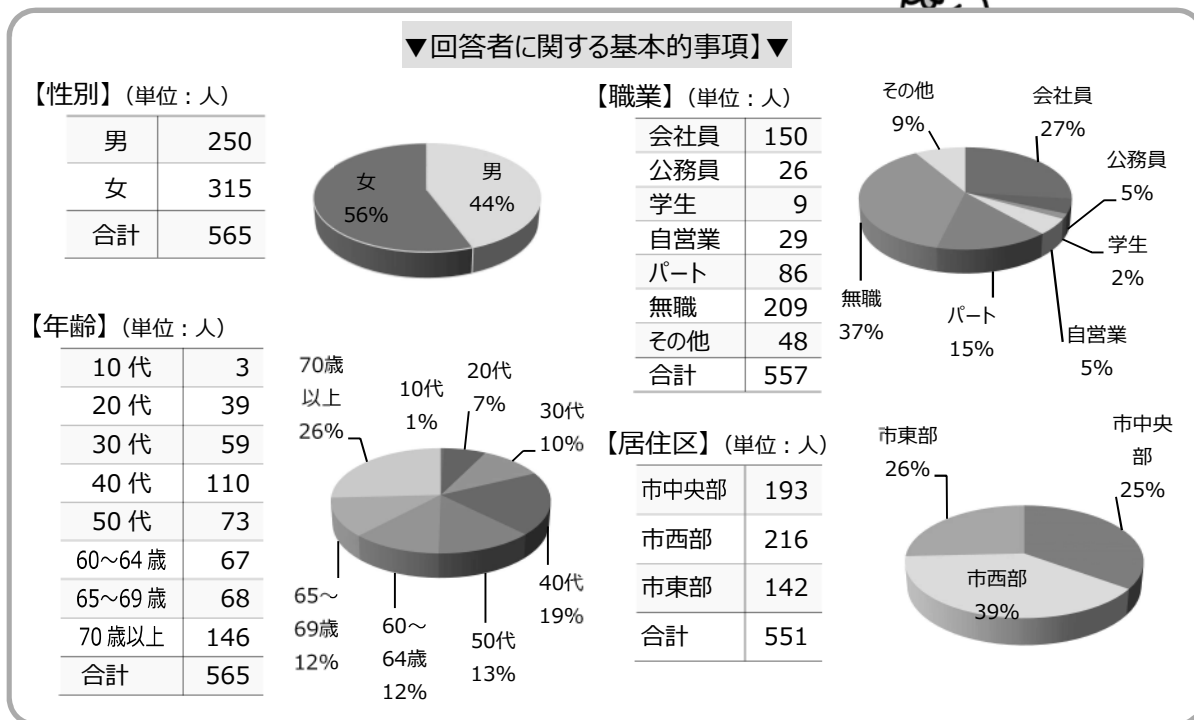
生涯学習に関する市民アンケート結果

(1) アンケートに係る基本的事項 (平成 29 年 1 月 16 日～31 日実施)

① 郵送アンケート【調査方法：郵送】

対象：満 18 歳以上の苫小牧市民 2,000 人 (無作為抽出)

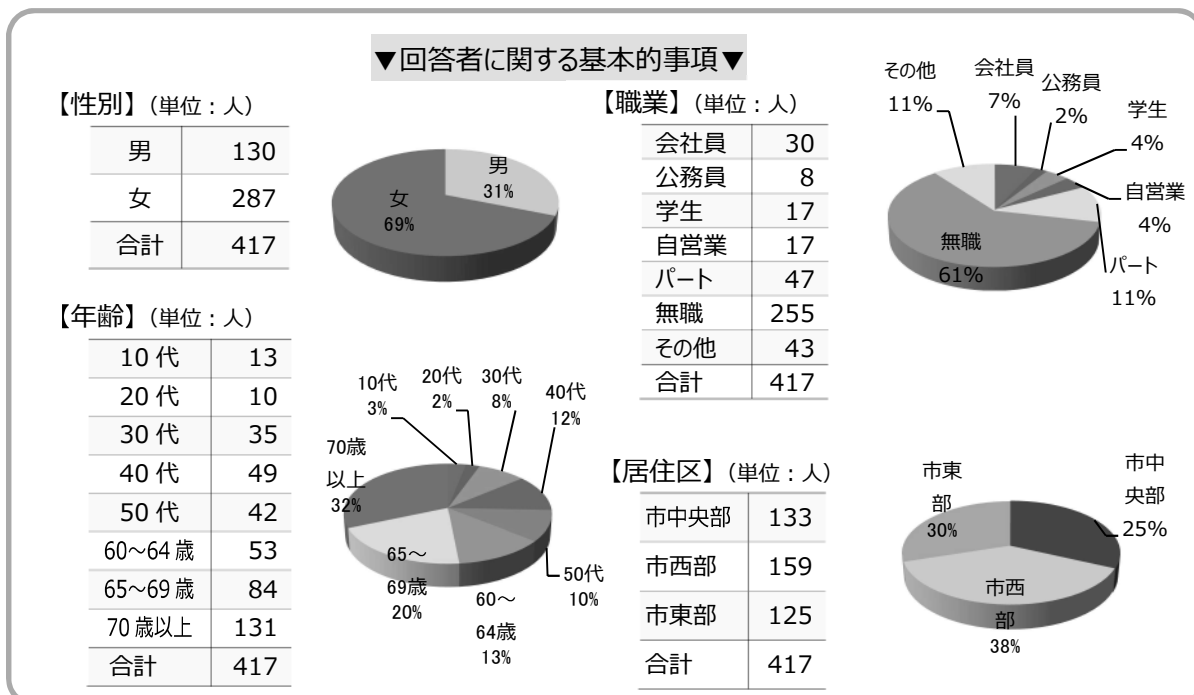
回答者数：565 人 (回答率 28.2%)



② 施設アンケート【調査方法 施設を通じて配付・回収】

対象：市内生涯学習関連施設利用者 (市内施設 14ヶ所 ※)

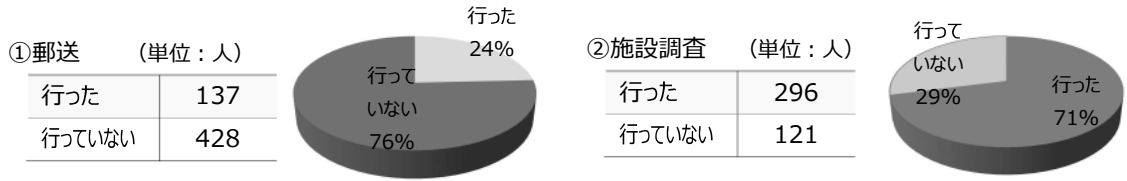
回答者数：417 人



※施設 14ヶ所：文化会館、文化交流センター、中央図書館、美術博物館、科学センター、勇払公民館、のぞみ・住吉・沼ノ端コミセン・植苗ファミン、市民活動センター、男女平等参画推進センター、福祉ふれあいセンター、高齢者福祉センター

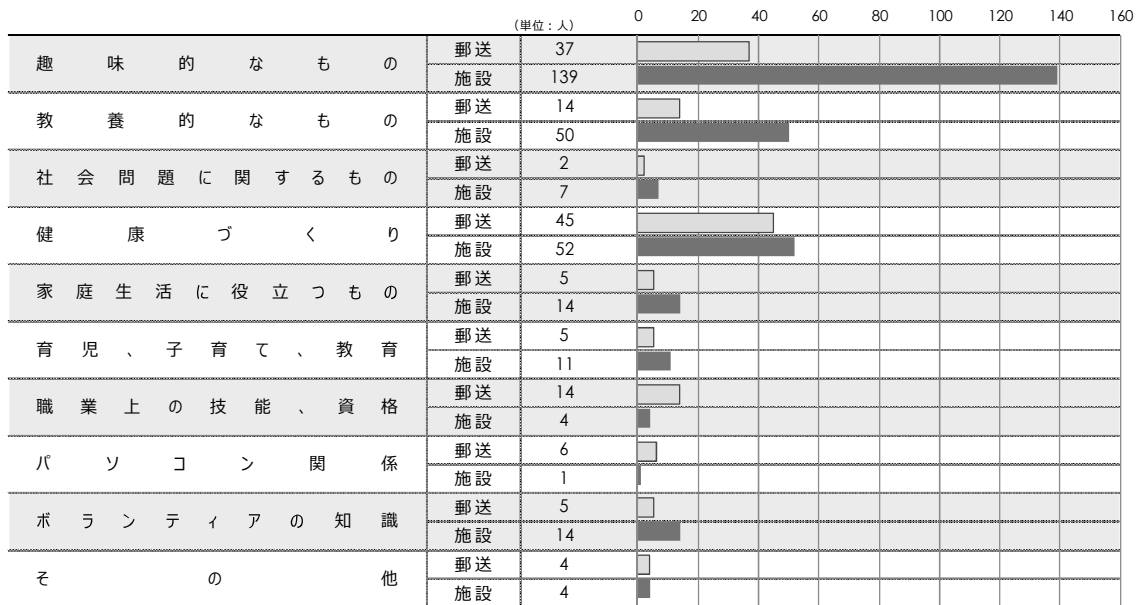
(2)アンケート結果

Q1 この1年間に何らかの生涯学習活動を行いましたか？

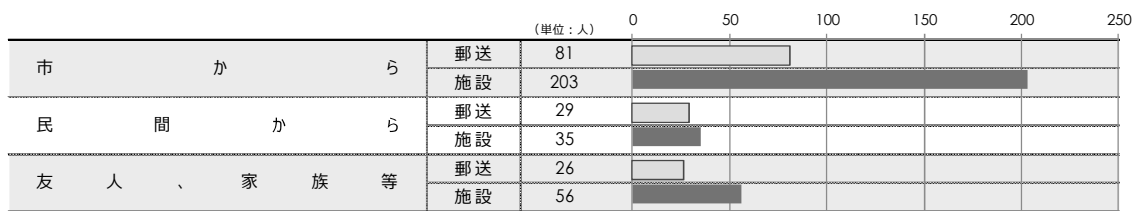


※Q2～Q6の設問はQ1で「行った」と回答した方が回答（郵送 137人 施設利用者 296人）

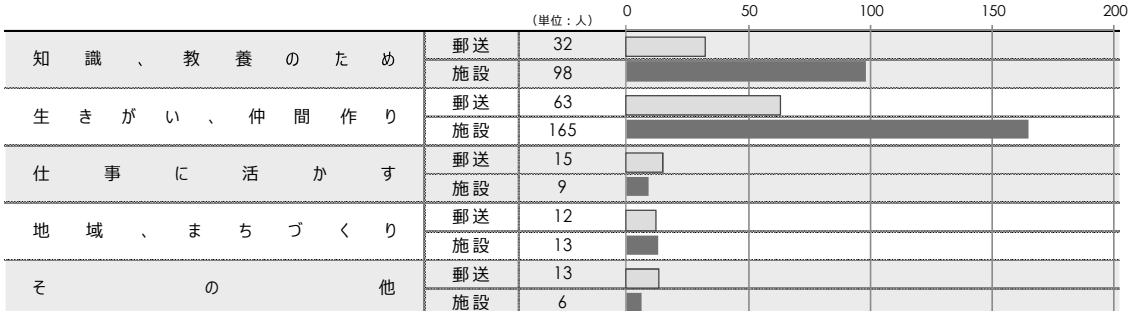
Q2 どのような活動をしましたか？（主なもの1つ回答）



Q3 生涯学習情報はどこから入手していますか？（主なもの1つ回答）

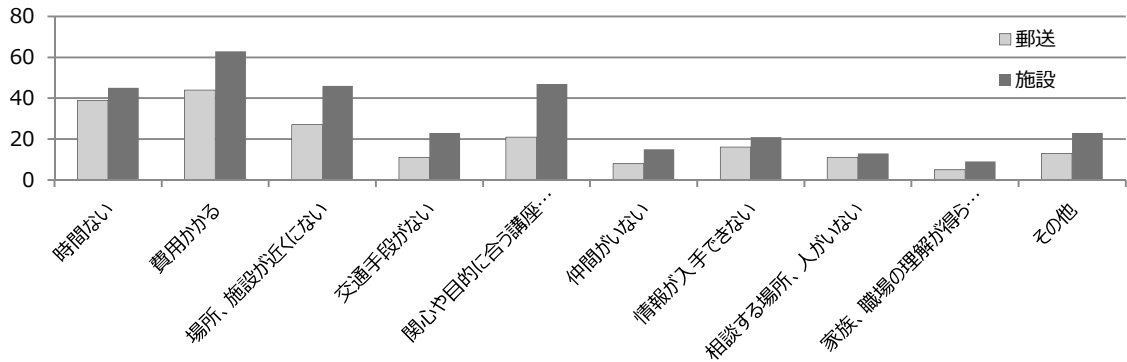


Q4 生涯学習の目的は？（主なもの1つ回答）



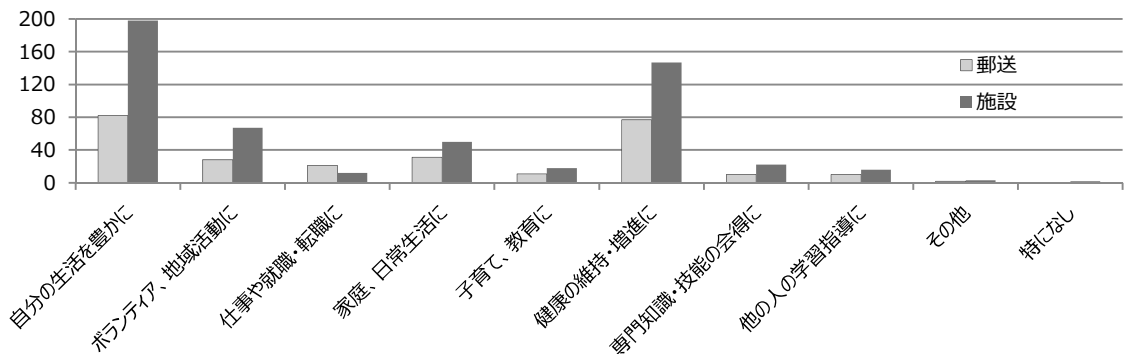
Q5 活動を行うにあたって支障となることはありますか？（複数回答可）

	郵送		施設		郵送		施設	
時間がない	39	45	仲間がいない	8	15			
費用がかかる	44	63	情報が入手できない	16	21			
場所、施設が近くにない	27	46	相談する場所、人がいない	11	13			
交通手段がない	11	23	家族、職場の理解が得られない	5	9			
関心や目的に合う講座がない	21	47	その他	13	23			



Q6 生涯学習を通じて学んだことを今後どのように活かしたいと考えていますか？（複数回答可）

	郵送		施設		郵送		施設	
自分の生活を豊かに	82	198	健康の維持・増進に	77	147			
ボランティア、地域活動に	28	67	専門知識・技能の会得に	10	22			
仕事や就職・転職に	21	12	他の人の学習指導に	10	16			
家庭、日常生活に	31	50	その他	2	3			
子育て、教育に	11	18	特になし	0	2			



※Q7～Q9の設問はQ1で「行っていない」と回答した方が回答（郵送 428人 施設利用者 121人）

Q7 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか？（主なもの1つ回答）

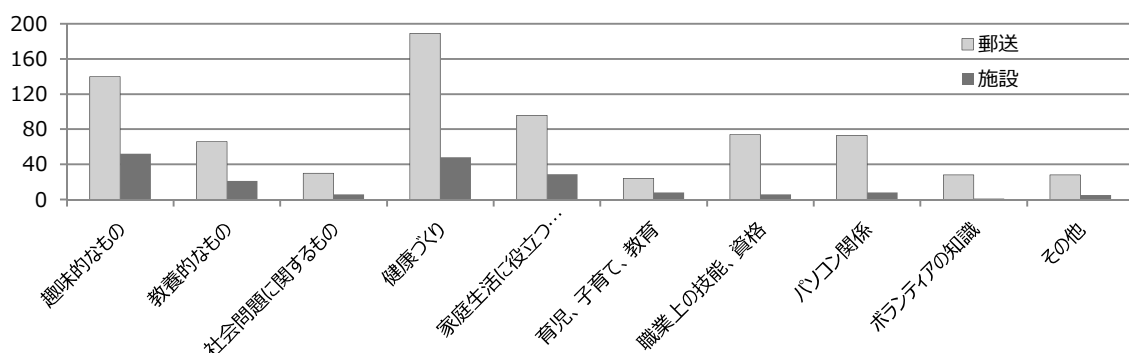
	（単位：人）		0	50	100	150	200	250
仕事や家事が忙しい	郵送	199	[Horizontal bar chart showing 199 units]					
	施設	46	[Horizontal bar chart showing 46 units]					
経済的な理由	郵送	25	[Horizontal bar chart showing 25 units]					
	施設	2	[Horizontal bar chart showing 2 units]					
講座の開設時間・時期が合わない	郵送	33	[Horizontal bar chart showing 33 units]					
	施設	14	[Horizontal bar chart showing 14 units]					
学習機会の情報がない	郵送	33	[Horizontal bar chart showing 33 units]					
	施設	10	[Horizontal bar chart showing 10 units]					
仲間がいない	郵送	14	[Horizontal bar chart showing 14 units]					
	施設	3	[Horizontal bar chart showing 3 units]					
身近に施設、場所がない	郵送	20	[Horizontal bar chart showing 20 units]					
	施設	6	[Horizontal bar chart showing 6 units]					
自分の希望の講座がない	郵送	27	[Horizontal bar chart showing 27 units]					
	施設	20	[Horizontal bar chart showing 20 units]					
家族、職場の理解がない	郵送	0	[Horizontal bar chart showing 0 units]					
	施設	1	[Horizontal bar chart showing 1 unit]					
その他	郵送	67	[Horizontal bar chart showing 67 units]					
	施設	13	[Horizontal bar chart showing 13 units]					

Q8 日常生活における情報はどこから入手していますか？（主なもの1つ回答）

		(単位：人)		0	50	100	150	200	250
市 場 からの	郵送	152		[Bar chart showing 152 units]					
	施設	57		[Bar chart showing 57 units]					
民間からの	郵送	226		[Bar chart showing 226 units]					
	施設	42		[Bar chart showing 42 units]					
友人、家族等	郵送	25		[Bar chart showing 25 units]					
	施設	14		[Bar chart showing 14 units]					

Q9 今後してみたい生涯学習活動は何ですか？（複数回答可）

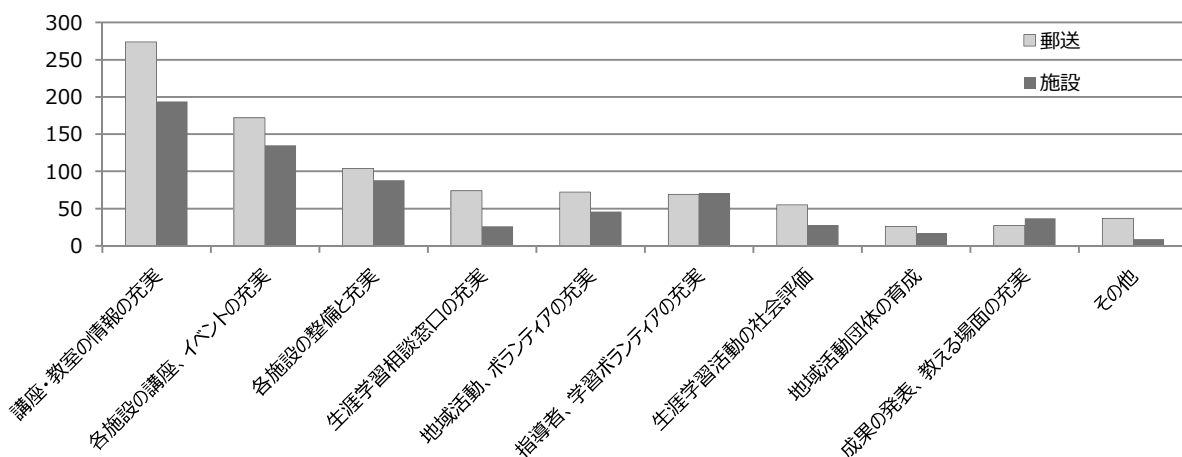
	(単位：人)			(単位：人)	
	郵送	施設		郵送	施設
趣味的なもの	140	52	育児、子育て、教育	24	8
教養的なもの	66	21	職業上の技能、資格	74	6
社会問題に関するもの	30	6	パソコン関係	73	8
健康づくり	189	48	ボランティアの知識	28	1
家庭生活に役立つもの	96	29	その他	28	5



※Q10の設問はすべての方が回答

Q10 あなたが生涯学習活動を行うためには何が必要と考えますか？（複数回答可）

	(単位：人)			(単位：人)	
	郵送	施設		郵送	施設
講座・教室の情報の充実	274	194	指導者、学習ボランティアの充実	69	71
各施設の講座、イベントの充実	172	135	生涯学習活動の社会評価	55	28
各施設の整備と充実	104	88	地域活動団体の育成	26	17
生涯学習相談窓口の充実	74	26	成果の発表、教える場面の充実	27	37
地域活動、ボランティアの充実	72	46	その他	37	9



市民からの意見募集（パブリックコメント）結果

平成 29 年 12 月 11 日に第五次生涯学習推進基本計画(案)を公表し、市民の皆さんから意見を募集しました。

1. 実施概要

- (1)意見の募集期間 平成 29 年 12 月 11 日から平成 30 年 1 月 10 日までの 30 日間
 (2)意見の提出方法 電子メール、FAX、郵送、持参
 (3)資料の配布場所 市ホームページ、市役所本庁舎 2 階市民情報コーナー、各文化施設（苫小牧市文化会館、苫小牧市文化交流センター、苫小牧市中央図書館）、各コミュニティーセンター（豊川、住吉、沼ノ端）、各出張所（のぞみ、勇払）、COCOTOMA、植苗ファミリーセンター

2. 意見の内訳

- (1)意見提出人数 1 人
 (2)提出意見の件数・項目 1 件・1 項目

3. 意見と市の考え方

No.	該当箇所	提出された意見	市教委の考え方
1	Ⅱ-2-08 人材を生かす場とセカンドライフ世代の活躍機会の充実	2-8 人材を生かす場と、セカンドライフの活躍機会の充実では ・人材を生かすことは人材を育成し、専門的な知識を習得させる事も重要と思います。 ・セカンドライフ世代の活躍においては、これから高齢化社会を迎える中においてシニアへのビジネス支援も必要ではないかと思ひます。シニア起業支援事業として、現在創業セミナーを行っています、シニアにターゲットを絞って実施するのも必要と思ひます。 ・国と道との連携も不可欠ではないかと思ひます。 北海道の取組視点 1 には「道民の学びを行動につなげる」とあり、苫小牧市の基本計画に書いてありますように 働いている世代ニーズを把握した講座の充実と働きながら学ぶ環境の整備（8 ページ） 費用負担の減につながる国・道・企業との連携による講座の開設と充実（9 ページ） 市民・団体・企業と行政の連携と融合にあります「各種団体や企業との共催による講座の充実」（P21）の中に資格取得に向けての取組が必要と思ひます。資格を取得したいと思ひている人は沢山いますが、資格取得には民間では 5 万円 10 万円かかり、個人で受講しようと思ひる人は少ないのではないのでしょうか。他県で支援している所もあります。	人材を生かす場とセカンドライフ世代の活躍機会の充実については、高齢化社会が進む中で大変重要になるものと思ひ、本計画案において重点施策に位置付けています。いただいた御意見のうち具体的な取組については、計画を推進していく上で、今後の取組の参考とさせていただきます。



苫小牧市（2018年度～2022年度）
第五次生涯学習推進基本計画

～すべての世代が生き生きと活躍する学びの充実～

発行者：苫小牧市教育委員会

発行日：2018年3月

編集：生涯学習課

〒053-0018 苫小牧市旭町4丁目4-9

TEL：0144-32-6756

URL：<http://city.tomakomai.hokkaido.jp/>

[kyoiku/shogaigakushu/](http://city.tomakomai.hokkaido.jp/kyoiku/shogaigakushu/)